

東北電力「エネルギー出前講座」

東北電力郡山営業所のエネルギー出前講座が2月22日に小野新町小学校で、2月25日に飯豊小学校で、3月2日に浮金小学校で開かれました。

郡山営業所の小野万紀さんと菅野喜夫さんが講師を務め、「地球環境とエネルギー」をテーマに、太陽光発電・風力発電などの新エネルギーのことや発電の過程で排出される二酸化炭素が地球温暖化の原因となっていることなどをスライドで紹介しました。

体験コーナーでは手回し発電機による電球点灯実験や発電模型の実演を通して、発電の仕組みや電気の働きなどを理解しました。

受講した児童は、地球温暖化やエネルギー問題を身近な問題として理解し、今後は地球にやさしい新エネルギーを積極的に取り入れていくことや節電の必要性を実感しました。



写真(上)コップに貯まった静電気で感電の実験(小野新町小) / (右)小野さんの話に真剣に耳を傾ける児童(飯豊小)

福島高专「新エネルギー出前講座」



伊藤准教授の説明を聴く生徒(小野中)

2月22日に小野中学校で、2月28日に浮金中学校で、福島高专「新エネルギー出前講座」が開かれました。

これは、小野町と福島工業高等専門学校(いわき市)が相互の振興発展を目的として平成20年8月に締結した、教育、産業、福祉、環境などの分野での連携・協力による協定に基づき開かれたものです。

講座は、福島工業高等専門学校電気工学科の伊藤淳准教授が太陽光や風力などの自然エネルギーを利用した新エネルギーの活用や太陽光発電の仕組みなどについて発電の実験などを行いながら分かりやすく説明しました。

受講した生徒は、環境にやさしい新エネルギーや発電の仕組みについて関心を高め、地球温暖化やエネルギー問題を考えるきっかけとなりました。